

# 熱中症を起こしやすい条件と その予防

大田原高校 49班

# 目次

- ▶ 研究背景
- ▶ 仮説
- ▶ 研究目的・意義
- ▶ 研究手法
- ▶ 参考・引用文献

# 研究背景

- ▶ 気候変動による熱中症に関心を抱いた。
- ▶ 屋内と屋外の部活動等を同時に中止にすることが多い。

## スライド 3

---

**生徒用2** アニメーションを入れてもいいのではないのでしょうか  
生徒用, 2021/02/25

# 仮説

- ▶ 屋内と屋外で熱中症を起こしやすい温度と湿度に違いがあるのでは？



# 研究目的

- ▶ 屋内と屋外の熱中症を起こしやすい温度と湿度の関係を調べる。
- ▶ 熱中症患者を減少させる。
- ▶ 大田原市の小・中学校に発信する。

# 研究意義

- ▶ 熱中症を予防する行動を知ることができる。
- ▶ 危険がある場所や時間帯のみの活動を制限する。



**一律中止をせずに部活動等を継続  
することができる。**

# 研究手法 I

- ▶ 4～5月の間に参考文献や先行研究から知識を得、それらの熱中症対策について生徒に発信する。





# 研究手法Ⅱ

## ▶ アンケート調査

- 1 熱中症のような症状を起こしたことがあるか？  
(場所・時間帯・気温・何をしていたか)
- 2 運動前、中、後によく飲む飲み物は何か。
- 3 暑いときよく冷やす体の部位はどこか。
- 4 熱中症の予防方法について勉強したことがあるか。

# 研究手法Ⅲ

- ▶ 校庭、体育館、1.2.3階廊下にWBGT計を設置する。
- ▶ もし、誰かが熱中症のような症状を起こしたときの湿度と温度を記録する。

WBGT計



# 参考・引用文献

- ▶ 環境省 熱中症 環境保健マニュアル2018
- ▶ 環境省 熱中症対策ガイドライン 2020
- ▶ 熱中症になりやすい環境や暑さ指数  
<https://www.netsuzero.jp/learning/.le11>
- ▶ 平成最後の環境重大ニュース  
<https://www.eic.or.jp./library./pickup/271>

ご静聴ありがとうございました。